

# としま 区議会 だより

令和2年

第1回  
定例会



No.274

広報編集委員会  
豊島区議会事務局

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1 ☎03(3981)1453 http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/gikai/  
FAX03(3981)3975 E-mail A0028903@city.toshima.lg.jp

令和2年(2020年) 5月1日発行

## 令和2年度 予算を可決

令和2年第1回定例会は、2月12日から3月17日までの35日間にわたって開会されました。

今定例会では、令和2年度一般会計予算及び3特別会計予算等について審議が行われ、区長提出議案32件を可決、議員提出議案は3件を可決、1件を否決し、報告1件を了承しました。

請願・陳情は、3件を採択、3件を不採択、新たに8件を閉会中の継続審査としました。



予算特別委員会の様子

### 「第5回議会報告会」を 中止いたします。

としま区議会だより第4回定例会号(2月1日発行)にて、「第5回議会報告会」(5月16日開催予定)についてご案内いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止と決定いたしました。

ご理解・ご了承のほどよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

区議会事務局 議事グループ  
☎03(3981)1453  
FAX03(3981)3975

### 可決した意見書 (要旨)

ハンセン病家族訴訟及びハンセン病問題の全面解決を求める意見書

- 1 国は、ハンセン病元患者家族の被害を直視し、元患者家族に対し謝罪と賠償を行うこと。
- 2 国は、ハンセン病元患者家族の権利回復のために必要な法整備を行うこと。
- 3 国は、ハンセン病元患者、元患者家族が差別されることのない真の意味での共生の社会を実現するため、再発防止検討会等を更に充実させ、また、各自治体において啓発活動、教育活動を進めるよう働きかけること。
- 4 国は、ハンセン病元患者家族のための「相談窓口」の設置及び行政職員の研修の実施を行うこと。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・厚生労働大臣あて)

小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用助成を定期接種同等の位置付けとして国へ求める意見書

- 1 予防接種に関する法令を改正し、特別な理由により、定期に実施された予防接種の再接種が必要となった場合、当該再接種を定期接種と同等に位置付ける等の助成制度を確立すること。
- 2 再接種により健康被害が生じた場合には、定期予防接種と同等に国の救済制度の対象とすること。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・厚生労働大臣あて)

さらなる無電柱化の推進に関する意見書

昨年発生した台風15号では、

約二千本の電柱が損壊し、長期停電の原因となった。電柱が損壊した場合、避難、救護、復旧活動への障害となることが想定される。

また、首都直下地震においても、甚大な被害が想定される。よって、豊島区議会は、国及び東京都に対し、さらなる無電柱化の推進を強く求める。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・国土交通大臣、東京都知事あて)

要請書を送付しました  
アメリカ合衆国のパリ協定離脱に抗議するとともに、撤回を求める要請書

令和2年3月17日、アメリカ合衆国に対し、要請書を送付いたしました。

### 名称の変更

議会活動のために使用する名称を変更しました。

- ・「しきしま会」↓「テレビ改革党」(1月21日付)
- ・「豊島・生活者ネットワーク」↓「無所属市民の会」(3月30日付)

### 住所変更等のお知らせ

塚田 ひさこ議員  
南池袋 2-45-1  
6914-13140

### 主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 ..... 2面
- 区政のここが聞きたい  
～一般質問(要旨)～  
..... 3～6面
- 常任委員会Q&A/  
予算特別委員会  
..... 7～8面







# 区政のここが聞きたい

## 第1回定例会一般質問(要旨) 2月18・19日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

### としま新時代へ さらさらに進む区政に



自民党豊島区議員  
竹下ひろみ

#### ●令和2年度予算について

**問** 当初予算における投資的経費は元年度の403億円から104億円と減少。これはどのような投資事業の変動によるのか。

**答** 東京建物プリリアホール、としま区民センター等元年度終了の13のまちづくり記念事業総事業費は206億6千万円で、減の多くが係る事業の完成による。

**問** 今後も人件費の抑制、公民連携の推進など構造改革に引き続き取り組むとしている。さらに踏み込んだ具体的な内容は。

**答** RPA、AI、IoT、その基盤の5Gネットワークといった先端技術を、都や民間と連携し、福祉、教育等生活全般の施策に積極的に取り入れる。

#### ●区有施設のあり方について

**問** 区民の生活を支える身近な施設も計画的に更新を進めていくべき。具体的な考えは。

**答** 来年度以降、3つの区民ひろば改築・改修、3つの保育園改修、2つの小中学校改築、14の小中学校改修など着実に推進。今後も財政的な裏付けを確保し、これまでと同様計画的に更新。

#### ●総合評価入札制度について

**問** 元年度総合入札結果を見て、価格の引下げに対する考えは。

**答** 係る入札は4月から12月の間18件あったが、価格以外の要素での落札は3件にとどまった。価格係数をさらに90から80へ引き下げ、バランスを図る。

#### 防災活動評価点を見直しすべき。

**問** 台風19号風水害で改めて民間事業者との協力体制の重要性を認識。過去2年に1回の区の防災活動の参加で0.5点、2回1点、3回以上2点を加算する。

**問** 区内事業者の保護育成につながる公平・公正な本店所在点の点数配分をすべき。

**答** 区内事業者の保護、育成は施設、設備の修繕やメンテナンスに効果大。災害時に司令塔となる本店が区内にあれば復旧、復興の協力体制も迅速、的確にできる。本店所在点を1点から2点に引き上げる。

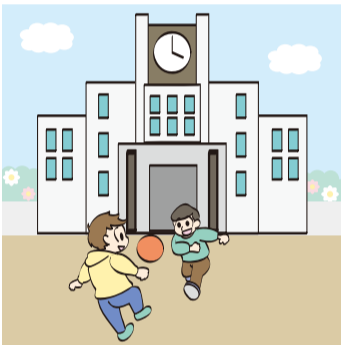
**問** 低入札価格を下回った場合その価格の適正性の調査を行うこととされている。区の考えは。

**答** 総合評価競争入札推進委員会で議論。今後は制度の趣旨に基づき価格調査を行いたい。

#### ●「教育都市としま」の実現に向けて

**問** あいさつやおもいやり等の価値を学び、進んで善い行いをする規範意識を身に付けさせる教育方針、具体策、実績は。

**答** 子どもたちの規範意識の育成は重要な課題。教育ビジョン



安全・安心な学校づくり

の基本方針に位置付け、豊かな心と規範意識の育成を目指す。「特別の教科 道徳」はじめあらゆる教科の学習、移動教室や

### 豊島区の未来に向けて



公明党  
西山 陽介

#### ●令和2年度予算案について

**問** 待機児童対策予算の推移は。

**答** 本格的な対策を開始した27年度以降6年間で49園、園児2千人分の対策を実施。誘致経費と運営経費に累計約490億円を投じ、平成29年度、30年度には待機児童ゼロを達成した。令和2年度も達成の見込み。今後も保育や子育て環境の質の向上と充実に向け、全力で取り組む。

#### ●高齢社会への対策について

**問** 社会的孤立は健康寿命に悪影響を与え、経済も打撃を受ける。社会的孤立ゼロへの対策は。

**答** 地域での見守りや支え合いのほか、積極的な外出や社会参加の促進も有効。区内の外出先の魅力や地域活動等の情報発信を強化するとともに高齢者の就業促進にも積極的に取り組む。

#### ●東池袋フレイル対策センターの「おとな食堂」は好評。

**問** フレイル予防拠点を区民ひろばに展開する際も導入の検討を。



おとな食堂

**答** 職員体制等の課題と、地域

体験学習の中で心を育てる取組を行う。更に全校であいさつに積極的に取り組み、安全・安心な学校づくりにつなげている。

#### ●総合高年齢社会対策の理念を盛り込んだ条例の制定を。区が目指す高年齢社会の姿は。

**答** 「すべての人が主役の豊島区」を目指し、スピード感をもって条例制定を進める。

#### ●社会的養育の推進について

**問** 社会的養育の推進のため、施設養育と家庭養育の役割や位置付けをどう整理するのか。

**答** より家庭に近い養育環境が望ましいが全児童の家庭養育への受け入れは困難。施設養育には家庭復帰や里親養育への早期移行を支援する専門機関の役割がある。それぞれの特性や機能が

### 集中投資を一区切りした 本区の将来像について



都民ファーストの会 民主  
細川 正博

#### ●令和2年度予算について

**問** 本区が都の戦略ビジョンに位置付けられた意味合いは。また、その将来像に向けての都との連携とアクションは。

**答** 池袋の役割とブランドが明確になったと考える。駅周辺の回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちづくりを都と緊密に連携し推進。国際アート・カルチャー都市実現へ更に取り組む。

#### ●感染症対策、テロ対策について

**問** 区が新型コロナウイルス感

を活かし、きめ細かく支援する。**問** 子どもの社会的養育には、児童養護施設等の整備が重要。施設養育に対する区の考えは。

**答** 区内での児童養護施設整備は喫緊の課題。令和2年度中に社会的養育の推進方針をまとめ、計画的な環境整備に取り組む。

#### ●掲示板の在り方について

**問** 区の広報掲示板すべてを、扉付き・マグネット対応板面にしたい。貼り替える現場の方の思いに立った整備を。

**答** 令和元年度末には188基中122基を扉付きにする。マグネット対応も4基導入。今後は扉付きマグネット対応を基本とする。

**問** 掲示板の今後の在り方と掲示板による広報の在りようは。

**答** 小さくとも掲示板には街としての景観への心構えが現れる。今後も広報紙と並ぶ重要な情報媒体として積極的に活用し、管理主体に関わらず適正な維持管理を続ける方策を検討する。

#### ●危険管理対策本部を設置し、24時間体制で相談にに応じている

**答** ほか、正しい対応を区民に周知するとともに、区役所においては感染症予防を徹底している。

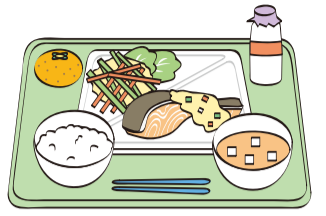
**問** 学校給食への公費補助事業の目的と具体的な事業内容は。

**答** 食育を推進することを目的としており、区と交流のある宮城県や秋田県のお米を使った郷土料理を献立として提供する。

※RPA…AIを備えたソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること  
※AI…人工知能  
※IoT…あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル

※5G…通信速度をより高めた次世代の移動通信システム  
※社会的養育…虐待や家庭的な理由等で保護者のもとで暮らせなくなった児童に対し、公的な責任として、社会的に養育を行うこと





学校給食

**問** 米飯給食の目標値を持つなど目的を曖昧にしないように。  
**答** 米飯給食の割合を週4回に増やし、目標値とする。

**問** 「特別の教科 道徳」について、現時点での成果と課題は。  
**答** 成果は、読み取り中心の授業から、自身が考え他者と意見交換し、自らを深めていく授業に転換が図られていること。今後の課題は、学習による成長の評価方法の工夫・充実であり、各学校に指導・助言していく。

**問** インターナショナルセーフスクール(ISS)は認証取得自体が目的ではなく取組内容が重要。新規認証は一区切りとするか。今後の再認証への考えは。  
**答** 2年度で一区切りと考えている。再認証についてはコミュニティ

### 自治体本来の役割をはたし、命と暮らしを守る区政に



日本共産党 小林ひろみ

**●2020年度予算について**  
**問** 区長は当初予算案について、公民連携を推進し「稼げる自治体」として新たな歳入の確保に努めると述べている。池袋西口公園などは、カフェを作って「稼いで」も追いつかないくらいイベント経費や維持管理経費が掛かっているではないか。  
**答** 来街者が訪れ、街への波及効果は大きい。

**問** 予算には含まれていないイケアの停留所の上屋の建設費はいくらか。  
**答** 設計を行った上で積算するため、現時点では未定。  
**再質問** 予算はこれくらいまでというのがなければ、費用が際限なく上がるではないか。  
**答** イケ・サンパーク(旧造幣局跡地の防災公園)の上屋の設計料等は5千万円ほどを想定。

ニティ・スクールモデル事業の検証と並行して検討していく。  
**問** 「ISSの全校化」という表現は現在の方針にそぐわない施策名の一般名称化を教育委員会で議題に取り上げるべき。  
**答** 名称については、認証される学校とノウハウを継承して取り組む学校の両方を合わせて進めていくことを明確にし、教育委員会においても確認していく。

**問** 幼稚園に入所している区内幼児の半数が区外施設に通っている現状をどう受け止めているか。また、課題とその対応策は。  
**答** 区の幼稚園の特色を十分に伝えられていないと受け止めている。最大の課題は入園児数の減少であり、区民ニーズに的確に答えていく体制の構築が必要。

**問** 区立幼稚園のセンター的機能と区立保育所の地域の保育施設の核となる役割、これらを連携し機能させていく必要があるが、今後の進め方と役割分担は。  
**答** 区立幼稚園は公開保育や研究活動、区立保育園は保護者向け事業等の家庭教育支援に重点をおき、教育・保育の質向上に向けて連携を深めていく。

グリーン大通りの上屋は1千万円程度を考えている。  
**再質問** どのようなものか。高すぎる、やめるべき。  
**答** イケ・サンパークには停留所と待合室。グリーン大通りには、南池袋公園側の停留所1箇所を設置。効果的な投資である。  
**問** 乗客が乗っていないイケパスの運行費補助はやめ、区民の足としてコミュニティバスの運行を早急に進めるべき。  
**答** コミュニティバスの運行には課題があり、早急に導入することは難しい状況。

**問** 保育士の待遇改善のため職員配置基準見直しを国に強く求めよ。区独自に給与の上乗せを。  
**答** 配置基準の見直しは国に強く要求していく。保育士への直接給付は考えていない。  
**●国民健康保険について**  
**問** 保険料を上げ続け、払えな

### 豊島区政のさらなるスリム化を目指して2



立憲としま 古塚としひろ

**●令和2年度予算について**  
**問** 消費税増税の影響や景気の先行き不安等により、区財政にとつてマイナスのトレンドも考えられる。この先の歳入の見通しが甘いと考えるが、見解は。  
**答** 確定的な見通しを持つことは困難。直近の実績に基づいて見通しを立てざるを得ない。  
**問** 区長の招集挨拶・所信表明で「稼げる自治体としての新たな歳入の確保にも努める」と述べているが、どういうことか。  
**答** 公民が連携しながらまちづくりを推進し、まちの魅力や価値を高めていくことで、区立芸術文化劇場のネーミングライツ等、新たな歳入を確保する。



保育士の待遇改善

い人から保険証を取り上げる資格証や短期証はやめるべき。  
**答** 相談業務による滞納整理に取り組むことで、資格証、短期証の交付を減少させていきたい。  
**●健康施策について**  
**問** 聴覚検査の年齢拡大について区の見解を問う。また補聴器について購入補助金額の増額等を検討すべき。  
**答** 対象年齢の拡大は現時点で考えていない。補聴器購入費助成は妥当な金額と考える。



区立芸術文化劇場

を支援する施策や環境の充実に向けて、取組を続けていく。  
**●令和2年度予算案について**  
**問** 生活実態を把握し、行政施策の展開の可能性や手法を示すことが必要。早期に高齢社会対策の分布図を作成すべきでは。  
**答** 検討を進め、なるべく早い段階でお示しできるように努める。  
**●介護保険制度について**  
**問** 介護が必要な人に必要なサービスが保障される制度設計が必要では。  
**答** 国の審議会等で議論がされており、特別区長会などを通じて必要な意見を具申ししている。  
**問** 介護業界の経営が厳しくなり、高齢社会を支える基盤そのものが失われかねない状況についての区の考えは。  
**答** 楽観はできないが、直ちに介護基盤を失いかねない状況とは考えていない。今年4月には、設立支援してきた事業協同組合が設立の見込み。今後も介護基盤の強化支援に取り組んでいく。  
**問** 制度を国が給付事業体系に移行も視野に入れ、自治体負担の抜本的改革への見解は。  
**答** 以前の公的ヘルパーのような国の給付事業に移行する抜本的な改革を発信する考えはない。  
**●教員の働き方改革について**  
**問** 様々な事案の発見のため、全ての子どもと目を合わせ、言葉を変えず環境設定を教育委員

### 子ども達が夢や希望がもてる豊島区を目指して



無所属の会 わがい 哲代

会が率先して遂行すべきだが。  
**答** 校務支援システムの導入やサポート・スタッフの配置などに取り組んでおり、今後も働き方改革をリードしながら推進。  
**問** スクールロイヤールに不足が生じた場合の対応とスクールロイヤールワーカーの各校配置計画は。  
**答** 弁護士1名の委託契約、スクールロイヤールワーカーは全校6名体制で、当面は十分対応可能と考えている。  
**問** スクール・サポート・スタッフの配置事業の効果、教員の負担軽減の数値目標及び子どもに対する影響の具体的シミュレーションを提示すべき。  
**答** 授業で使う学習プリントの印刷・配付の準備の補助等を担い、特に資格要件はない。他の取組の効果を含め年間超過勤務削減目標は17時間。教員が子どもに向き合う時間などが増加。



スクール・サポート・スタッフ



無所属元気の会 小林 弘明

AI・5Gをはじめとする最新ICT技術を身近な暮らし・区政に導入し、住み続けたい街の更なる実現を。  
**●区政のAI化・ICT化に、**  
 全庁的に対応できる専任職員



配置・採用育成、および公民連携体制について

AI・ICT分野は、異動を伴う区職員ではなく、専門家



つかってみよう！マイナポータル (内閣府ホームページより)

からの登用が最適では。早い時期を目標に、民間人材登用の方策を検討していく。

マイナンバーカード、5G対応をはじめとする最新ICT技術導入における、豊島区の対応と今後の動向について

区民と共につくる 豊島区の未来



豊島ネット 塚田 ひかり

区民にやさしいまちづくり

区の施策に子ども意見を反映できるような仕組みが必要

他自治体の先進事例やその取組の効果について、調査・研究に取り組みたいと考える。

子どもの貧困は親の貧困であり、現代の貧困問題は、地域から孤立していることが問題。

貧困を含む様々な困難を抱える家庭の早期把握に努め、地域全体での支援を推進する。

区独自の騒音測定をすべき。区内で最も低く飛行する経路



豊島区上空低空飛行ルート

路の下にある南長崎第二保育園の屋上での計測を計画しており、測定時期や広報の方法等を検討

豊島区が締結している NHK受信契約について



テレビ改革党 くしざわ亮治

区がNHKと締結している放送受信契約数

区民に十分に情報が行き届いておらず、再度の教室型説明会の開催が必要。今後の予定は、国からの情報はないが、再度の開催は必要と考えており、国へ引き続き要望していく。

NHKに関する苦情や相談を受けているとNHK関係者の犯罪が多いことに気がついた。

改善が見られないため、NHKの利益となるような支出、特に税金を使った支出に反対である。豊島区がNHKと締結している受信契約数は。

今年度、本庁舎、区民ひろば、保育園、小中学校等において、22件のNHK受信契約を締結している。

子どもが自由にのびのびと暮らせる豊島区を目指そう！！



あたらしい豊島の会 入江 あゆみ

プレーパーク事業について

プレーパークの運営を行っているプレーリーダーの方たちの待機場所の確保及び労働環境の改善が必要と考えるが。

労働環境の改善にもつながる待機場所確保の方策を引き続き検討していく。

子どものゲーム利用制限について

香川県の子どものゲーム使用時間を制限する条例案は「豊島区子どもの権利に関する条例」と矛盾するのでは。本区で同様の条例制定の可能性は。

本区と香川県の条例案の考え方は相いれないため、同様の条例を制定する考えはない。

豊島区の、未来に責任。



自民党豊島区議員 藤澤 愛子

まちづくりについて

多様なオフィスワーカーが



苦情・相談

豊島区がNHKに支払っている受信料の年間総額は。

今年度の受信料支出の年間総額は235万6千円となる。



「豊島区子どもの権利に関する条例」リーフレット(一般用)

保育園の園庭に指定されている公園については、入札ルールの見直しを行い、早期に契約締結をすべきと考えるが。

地方自治法に定められた方法での入札が原則で、区独自のルール変更は困難。保育園児が利用する遊具の修繕については、優先的に手続きを進める。

快適に生産性高く働ける環境が求められている。豊島区で働く人々にとつての魅力的なまちづくりをどう捉えているか。

家庭や職場とは異なる第3の居場所である魅力的な「サードプレイス」を街中に整備していくことと考えている。

多言語の情報発信機能を充実させるとともに、池袋を訪れた人たちが個性的な各地域の回遊を促進する手法を検討する。



多言語の情報発信機能

子供の命を守る施策について

助けを必要とする子供たちへ、適切で切れ目の無い支援を実現する自立援助ホームは大変重要な施設。区の考えは。思春期の児童にとつて心の

誰一人取り残さない 持続可能な豊島へ



公明党 高橋 佳代子

SDGsの取り組みについて

SDGsのモデルとして未来都市に名乗りを上げるべき。

満を持して、応募に向け前向きに検討する。

福祉施策について

拠所であり、重要な機能を果たす施設と考えるため検討する。

新設される児童相談所について、職員の異動や勤務体制、一人当たりの対応件数の想定は。

女性の社会進出が進み、共働きが増えている。子育て世帯が働くことをどう捉えているか。

これまで、待機児童対策など、子供を産み育てること、働く子育て世帯への支援に取り組んできた。今後も多角的な視点から取組を進めていく。

保育園が子供と触れ合う時間を確保できるなど、より質の高い保育を実現するため、区立保育園のICT化を検討しては。

先行自治体を参考にモデル的に導入することにより、本格的なICT化につなげていく。

利用しにくい小さな公園を、隣接する駐車場などを活用し、面積を広げること検討しては。各種事業の補助金を活用しながら、公園の拡大に努力する。

高南保育園は今後保育需要が高まり待機児童が発生する恐れがある。建て替えて、受け入れ枠の拡大を強く要望する。高南保育園の増改築は待機児童対策として有効だが、仮園



舎の確保が大きな課題。適地を見つけて努力を続ける。



高南保育園

障がい者の自立及びB型作業所の賃金向上への取組について、考えを伺う。

障害の状態、本人の考え方を尊重した自立支援が重要。都の受注情報を提供する等安定した事業運営への支援に努める。

発達障がい者相談事業の、現在の課題と今後の取組は。

医療的対応が可能な専門機関が少ないのが課題。2年度より医師の専門相談、発達障害者支援方針会議を開始する。

提案している子ども発達支援センター設置の進捗状況は。

児童発達支援事業と教育セ

### 明るく活気のある街づくり

●池袋を中心とした事業の検証と、その成果について

新たな施設や街並みへの区民等の反応と区長が当初描いていたものとの違いについては。

区民をはじめ多くの来街者が様々な施設やイベントに訪れている。大きく生まれ変わった街はメディアで取り上げられ、その反響は想像を超えている。

区長が目指す「文化」に対するこれまでの取組をどう捉え

センターの連携、子ども発達支援センター設置の両面で検討中。

住宅セーフティネット事業実現への取組を求める。

住宅の登録を検討するオーナー向けに補助の拡充等を行い、補助制度の周知を図っていく。

●教育について  
柚子の木教室に通うことができない不登校の児童・生徒に対し、どのような支援をしているか。

自宅でeラーニングに取り組み等のサポートを検討する。

●まちづくりについて  
不燃化特区に追加する等、今後の上池袋一丁目地区のまちづくりについて、区の考えは。

特区制度の延伸に加え、対象区域に上池袋一丁目を含めるよう都に強く要望している。

●高田地域の風水害対策  
開設する救援センターの周知、運営等の今後の取組は。

震災時と風水害時では救援センターが異なり、様々な課題がある。今年の梅雨前には課題を解決し、対策に万全を期す。



都民ファーストの会 河原 弘明

ているか。

文化の力でまちの価値を高め、賑わいを創出し、新たな夢と希望をもたらすことができた。

●トキワ荘マンガミュージアムのオープンと今後について  
ミュージアムや図書館と連携しつつ、マンガ・アニメのアーカイブの整備が必要では。

全国のマンガ関連ミュージアムや図書館と連携し情報収集するとともに、地域の活動記録

や報道発表等も収集・保存する。

教育長のトキワ荘学習についての展望とトキワ荘関連図書

の区内全校への配架については、マンガを手がかりに、作者の作品に込めた思いや生き様を学ぶことは、ふるさと学習のみならず、生き方を学ぶキャリア教育にもつながる。配架は、現時点で、3割程。来年度、全校配架を目指す。

空き店舗にマンガ家の故郷のアンテナショップはどうか。

大変意義深いことである。活用店舗や先方の考えも踏まえ、前向きに検討する。

「トキワ荘」に賭ける区長

### 区民のくらしを守り、安全、安心の区政を

●消費税増税に伴う対策について  
消費増税により、景気動向指数は5か月連続、1世帯当たりの消費支出は3か月連続のマイナスである。増税が区民生活や中小事業者等に深刻な影響を与えている認識はあるのか。

今後の景気動向については、慎重に見定めていきたい。

地域活動支援センターの補助金は消費税8%引き上げ時今回も拡充がない。値上がり分

について、来年度予算で拡充を。当面、消費税増税分の予算措置は考えていない。

●防災、震災対策について  
救援センター開設時には職員の結果役割が重要だが、災害対策要員は34名と少ない。35名に増員し、複数人配置を。

●命と健康を守る区の課題について  
肺がんCT検査は希望者が多く、予約が取れない。区はあらゆる方策を講じ、直ちに低線量CT検査ができるよう対応を。

●検査の増設とともに低線量CT等、新機器導入の可能性も、調査・研究していく。

●小池都知事は、昨年の第4回定例会で突然、14の都立・公社病院の独法化を表明。都立大塚病院は地域の拠点病院、都知事に独法化の撤回を求めよ。



トキワ荘マンガミュージアム

の気持ちは。

ミュージアムが国内をはじめ海外からも多くの来街者を迎えるよう、また、まちの回遊性を高め、地域全体の賑わいにつながるよう熱意をもって取り組む。



日本共産党 儀武 さとる

●外国人ルーツを持つ子どもの就学支援について  
外国籍の児童・生徒がいる世帯には、母国語ややさしい日本語の就学案内を送付しては。

英語・中国語の案内をホームページに掲載している。今後は案内の郵送等も検討する。

●不就業児童を個別に把握し就学につなげる取組について  
これまでの対応と今後の方針は。これからの対応と今後の方針は。学齢簿で把握し調査しているが、安否確認程度。今後は国が作成する指針により対応する。

●災害時生活必需品の備蓄について  
大人用紙おむつ、子供用紙おむつ、大人用尿取りパッド、生理用品の備蓄数と数量の根拠は。

### 未来を作るチャレンジ



立憲としま さくま 一生

●いきいきアクティブシニアの応援施策について  
「としま案内」という生きがいを見つけ、活躍しているシニアの方々がいる。活動に対する評価と今後の期待は。

●国際アート・カルチャー都市の実現の一翼を担っており、高く評価。更なる活躍を期待。

●脱プラへの具体的施策について  
イケバス模様のマイボトルを持参することによるカフェ等の割引やエコアイデアコンテストを実施してはどうか。

●マイボトルの利用で割引等の特典がある区内の店舗をHPで紹介するなどの取組や、区民来街者が実践したくなる取組を検討。



としま案内人駒込・巣鴨

### 政治とは弱き者に光をあてること「声なき声に耳を傾けて見えてきたこと」



立憲としま 川瀬 さなえ

●大人用紙おむつ2万8千枚、子供用紙おむつ2万5千枚、生理用品7千枚。大人用尿取りパッドは備蓄なし。おおむね避難者1日分を備蓄している。

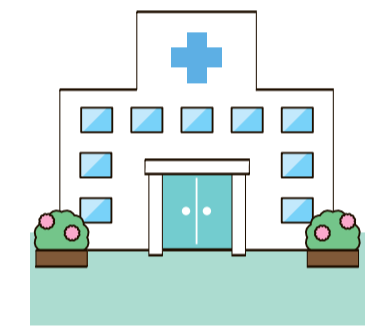
●保管期限が過ぎた生理用品の再利用・有効活用の方法は。

●廃棄せず母子支援施設やひとり親家庭での活用を検討する。

●外国人のための生活インフォメーション(区ホームページより)



外国人のための生活インフォメーション(区ホームページより)



病院



# 常任委員会

## Q & A

# 予算特別委員会

### 総務委員会

開会日 2月21日(金)・26日  
(水)  
案件 議案11件・陳情2件  
・報告4件等

●山手線池袋・大塚間西巣鴨橋撤去工事委託契約(一部変更)

問 橋の架け替えについて、やるべきことがたくさんあるが、今後の見通しは。

答 今回の契約は、新設工事を前提とするもので、JR東日本と新設工事の準備協議を同時並行で行っている。通行できない期間が少しでも短くなるよう、できる限り工事を前倒しして進め、6年度の工事完成を守れるように進捗管理を行っていきたい。

### 区民厚生委員会

開会日 2月21日(金)・26日  
(水)  
案件 議案4件・陳情3件  
・報告4件等

●豊島区立区民集会室条例(一部改正)

問 隔週で日曜日に開館していた9施設を全日曜日に開館することになるが、十分に活用される想定をしているか。

答 土日の利用率は、平日と比較し高いため、十分に活用されるものと考えている。

問 区直営と自主運営の施設があるが、管理責任は区が持たなければならぬと考えるが。

答 公共施設のため、区直営か否かにかかわらず、常に情報収集し必要な対応を行っている。

### 都市整備委員会

開会日 2月25日(火)・27日  
(木)  
案件 議案8件・請願1件・陳情1件・報告3件等

●豊島区立公園条例(一部改正)

問 キッズパークに、インクルーシブ遊具を設置する予定は。

答 全てではないが、ミニ・トレンで体幹の弱い子ども乗れる仕様などを考えている。

問 キッズパークの床はウッドデッキにすることだが、安全面や車椅子の子が利用しやすい配慮はされているのか。

答 ダスト舗装と比較して、転んでもけがをしにくいものと考えている。また、自然素材であり車椅子も問題なく利用できる。

### 子ども文教委員会

開会日 2月25日(火)・27日  
(木)  
案件 議案1件・陳情3件  
・報告14件等

●豊島区立図書館及び豊島区立区民集会室の指定管理者の指定(一部変更)

問 利用者からの指定管理者に対する評価は。

答 利用者向けに満足度調査を行っているが、高い評価を得ている。立入調査での指摘事項に対しては改善されている。

問 指定管理者は、どのような事業を行っている企業か。

答 創業から40年以上図書館に関わる事業を行っており、現在、23区中53館で指定管理者に指定されている。

### 政策経営費

●SDGs未来都市等について

問 SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業への応募を今年度で早めた理由は。

答 分野横断的な事業になるため相当の準備期間を想定したが、これまでの取組が活かせることが分かったため、応募に踏み切った。

### 総務費

●業務継続計画及び地域防災計画について

問 温暖化による豪雨や新たな感染症の発生、また、通信技術の進歩など、状況が変化している中、定期的な見直しの状況は。

答 地域防災計画は、毎年見直している。業務継続計画は、新型インフルエンザ編を策定後8年が経過。来年度中に改定を予定。新型コロナウイルス感染症の教訓も盛り込んでいきたい。

### 福祉費

●フレイル対策について

問 フレイルチェックの実施状況は。

答 フレイル対策センターのほか、介護予防センター等でも行っており、2時間のコースには、これまで190名が参加している。

### 衛生費

●受動喫煙防止対策について

問 昨年、一部施行された健康増進法と都の受動喫煙防止条例は、4月1日に全面施行される。主な規制内容は。

答 学校や病院について、法は施設内禁煙、条例は敷地内禁煙となる。飲食店について、法は客席面積が100㎡以下は適用除外だが、条例は従業員がいたら規模にかかわらず禁煙となる。

### 環境清掃費

●災害廃棄物処理基本計画策定事業について

問 計画を策定するに至った経緯は。

答 国の災害廃棄物対策指針で策定が求められており、近年、自然災害が多発していることから、早期に策定が必要と判断した。

### 区民費

●キャッシュレス決済について

問 キャッシュレス決済の導入状況は。

答 住民税は、モバイルレジやクレジットカード納付を実施している。2年度より、LINE

### 都市整備費

●空き家対策について

問 本区の空き家率が減少した要因は。

答 区の人口や世帯数が増加しており、転入者の受け皿の一つになっていると考えている。

問 今後の空き家活用に向けた取組は。

答 元年度に地域貢献型の改修費補助制度などを創設。補助制度を活用した成功事例を区民に周知し、活用の促進を図る。

### 子ども家庭費

●子ども若者総合相談事業について

問 どのような事業か。

答 子ども若者課窓口に、18歳以上を担当する委託事業者の相談員と、18歳未満の相談を担当する子ども若者支援ワーカーが在駐し、相談を受ける。子ども居場所へ伺い、相談を受けるアウトリーチ事業も実施する。相談者数は年々増加しており、事業の拡充を検討している。

### 教育費

●学校法律相談事業について

問 どのような事業か。

答 スクールロイヤーを1名配置し、区内全小・中学校の法律問題に対応する。

●スクールサポートスタッフ事業について

問 事業概要とその効果は。

答 教材準備等の補助を行う人材を配置し、教員を支援。働き方改革の一環として、年間約17時間の削減を目指し、子どもたちと向き合う時間を確保する。

### 国民健康保険事業会計

●一人当たりの医療費について

問 医療費が23区と比較して、低く抑えられている要因は。

答 若い方、特に外国人の若い留学生の比率が高く、余り医療を受けていないことや、制度の拡大により一定程度の方が被用者保険の適用となっていることが主な要因。

### 介護保険事業会計

●高齢者地域見守りタグソリューション事業について

問 見守りタグを持った認知症高齢者等の行方を位置情報履歴として保護者が確認できるシステムを新たに導入するが、区内の拠点についての想定は。

答 見守りと支えあいネットワークの協力事業者や区民にボランティア参加等を呼び掛け、区内に網の目を張りめぐらせることに取り組む。拠点は区内8箇所程度を想定している。

### 予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎村上 宇一 (自民党豊島区議員)
  - 高橋佳代子 (公 明 党)
  - 小林 弘明 (無所属元気の会)
  - 石橋 正史 (自民党豊島区議員)
  - 有里 真穂 (自民党豊島区議員)
  - 古堺としと (立憲としま)
  - 塚田ひさこ (豊島ネット)
  - ふま ミチ (公 明 党)
  - 根岸 光洋 (公 明 党)
  - 松下創一郎 (自民党豊島区議員)
  - 中澤まさゆき (豊島ファーストの会、民主)
  - ふるぼつ知生 (無所属の会)
  - 儀武さとる (日本共産党)
  - 島村 高彦 (公 明 党)
  - 竹下ひろみ (自民党豊島区議員)
  - 河原 弘明 (豊島ファーストの会、民主)
  - 永野 裕子 (豊島ファーストの会、民主)
  - 小林ひろみ (日本共産党)

※SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業…国が持続可能な経済社会システムを実現する都市・地域づくりを目指す自治体を「SDGs未来都市」に選定。このうち、先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」に認定  
※モバイルレジ…請求書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取り、ネットバンキング、クレジットカード支払や、口座振替申込ができるサービス。支払窓口へかけることなく、自宅で簡単に支払ができる



# 令和2年度各会計予算 に対する各会派等の

# 意見表

# (要旨)

## 自民党豊島区議団

令和2年度一般会計  
予算及び3特別会計予  
算に賛成する。

令和2年度予算は、  
7年連続で財政調整基  
金を取り崩さず編成す  
る等、将来を見据えた  
予算と評価する。  
款別にみると、総務  
費では、防災対策とし  
て、住民とともに救援  
センターを開設・運営  
できる体制を。福祉費  
では、生活保護受給者  
の生活状況・健康状態  
等の把握と自立に向け  
た支援を。衛生費では、  
飲食店が原則禁煙・分  
煙となるが、事業者に  
対する補助制度の導入  
の検討を。都市整備費  
では、住宅セーフティ  
ネットを活用し、空き  
家の利活用の促進を。  
教育費では、部活動指  
導員等の有効活用によ  
る働き方改革を。公債  
費以降では、新型コロナ  
ウイルス感染拡大に  
よる景気低迷に対して  
予備費等を活用した十  
分な対策を。特別会計  
の介護保険会計では、  
介護報酬改定等の情報  
を公開し、利用者の信  
頼確保を要望する。

## 公明党

令和2年度一般会計  
予算及び3特別会計の  
可決に賛成。メリハリ  
ある予算であり、区民  
生活の基盤に軸足を置  
いた施策を評価する。

【款別主な意見と提案】  
政策経営費・総務費  
「SDGs」を基軸に、  
後期基本計画の策定。  
災害時の給水、要配慮  
者へは自宅まで配布。  
区民費・福祉費  
AI等を活用した窓口  
サービスの向上。おく  
やみ案内コーナー設置  
区功労表彰は公平かつ  
柔軟に対応。認知症検  
診事業の更なる推進。  
都市整備費  
豪雨対策の着実な推進  
国際興業池07バスの存  
続と新停留所設置。  
子ども家庭費・教育費  
老朽化した高南保育園  
・巣鴨第一保育園の改  
築。教育機関のコロナ  
ウイルス対策は、最大  
の支援を。部活動指導  
員の充実強化。  
歳入は、不合理な税制  
改正に対し是正を強く  
要望。コロナウイルス  
による影響に今後も注  
視し、臨機応変な対応  
を要望。

## 都民ファーストの会・民主

一般会計予算・3特  
別会計予算に賛成。7  
年連続財政調整基金を  
取り崩さない健全な編  
成。前年度比で投資的  
経費を大きく圧縮、街  
づくりの投資時期の見  
極めと、多様な需要に  
配慮した人員体制構築  
が必要。災害対応は台  
風19号の経験を活かし  
救援センター等体制づ  
くりを。液体ミルクの  
備蓄は国際ガイドライ  
ンに反しない運用を。

意思決定の場に女性を  
増やす積極的な取組を。  
多文化共生の地域性に  
鑑みた実態把握と具体  
的な施策展開を。パパ  
ママ教室等で産褥期の  
母子支援の重要性啓発  
を。ICT活用し障が  
い等に寄り添った情報  
保障を。立教通り整備  
は脇道迂回対策や近隣  
住民・環境への配慮を。  
廃プラスチック問題の  
積極的な対策を。トキ  
ワ荘マンガミュージア  
ムは地元連携で地域活  
性化を。新型コロナウイルス  
対策は刻々と変わる状況  
の適切な情報提供と迅  
速な対応と生活課題・  
経済への支援も必要。

## 日本共産党

20年度一般会計及び  
3特別会計予算に以下  
の理由により反対する。

第一に、新型コロナウイルス  
対策で中小企  
業等支援が不十分、保  
健師増員計画がない。  
公共住宅からの撤退な  
ど区民の暮らし、福祉  
教育など区民需要を最  
優先した予算になって  
いない。  
第二に賑わいと文化  
を口実にハレザ池袋周  
辺の大型開発、ハコモ  
ノなどに膨大な税金を  
投入する一方、特養ホ  
ーム建設や学校改築計  
画等は先送りしている  
。大企業と来街者の  
ためのまちづくりを優  
先し区民置き去りの予  
算である。  
第三に、区の組織改  
正は議会軽視で進めら  
れ、稼げる自治体とい  
うが、池袋西口公園等  
は、収入を上回る経費  
増となり、自治体本来  
の役割を果たすうえで  
ひずみが起きている。  
保険料を値上げする  
国民健康保険、後期高  
齢者医療、必要なサ  
ービスが受けられない介  
護保険には反対。

## 立憲としま

令和2年度一般会計  
予算及び3特別会計予  
算について、幾つかの  
懸念事項はあるものの、  
おおむね了として賛成  
意見を述べる。

行政のスリム化・効  
率化を主眼に、各事業  
が区民ニーズに則し、  
満足度向上につながる  
かとの観点から審査。  
新型コロナウイルスの  
影響により中小企業は  
危機的状況、早急に事  
業者を救う手立てを。  
歳入見通しの甘さを指  
摘。歳入環境の動向を  
注視し、大胆な判断と  
繊細な対応を。芸術文  
化劇場と池袋西口公園  
オープンによる来街者  
の動向や消費活動・経  
済効果の調査・分析を。  
学校や老朽化した施設  
の改築・改修など投資  
需要は選択と集中が必  
要。ワークライフバラ  
ンス実現のため、ICT  
活用、RPA導入に  
より、生産性向上を。  
女性にやさしい子育  
てしやすいまちづくり  
がしっかりと結実し、  
住み続けたいまちとし  
て選ばれ続けることを  
期待する。

## 無所属の会

令和2年度一般会計  
予算及び3特別会計予  
算について賛成の立場  
から意見を述べる。

総括として区の投資  
的経費の課税人口への  
影響を更に研究すべき。  
款別にみると、総務  
費では、防犯カメラの  
設置について、町会等  
の負担軽減を。有権者  
に投票所の変更点の周  
知徹底を。福祉費では、  
失語症の方のコミュニ  
ケーション支援事業の  
粘り強い育成を。フレ  
イル対策の成果を区全  
体に広げるため効果の  
見える化を。都市整備  
費では、大塚駅周辺整  
備事業が街の活性化に  
資するものにするこ  
と。住宅セーフティネット  
事業の更なる拡充を。  
文化商工費・教育費で  
は、薬物乱用防止教育  
の内容を吟味し、教員  
対象の研修実施の制度  
化を。総合運動場の改  
修は利用者の意見を踏  
まえた有効活用を。  
3特別会計について  
は、地方負担分の軽減  
を国に訴え、制度が安  
定的に維持されること  
を要望する。

## 無所属元気の会

区民のいのちと健康  
や資産を守ることを「稼  
げる豊島区」から「稼  
がなくちゃいけない豊  
島区」への意識改革、  
創出したにぎわいを区  
民が実感出来る形で還  
元されているか、その  
ために必要な働き方改  
革の一助として、AI  
・ICTの積極的利活  
用すること、といった  
視点から審査した。

新型コロナウイルス  
に関しては、正確な情  
報提供のための部署間  
連携体制整備や一元化  
中小企業・共働き子育  
て世帯への支援に関す  
る情報収集と発信、マ  
スク自販機の導入、休  
校中の生活指導や家庭  
負担、花粉症・喘息バ  
ツジについて提言。  
歳入では豊島区のブ  
ランド力を生かした取  
組を強く要望。空き家  
抑制税の導入で、歳入  
増と同時に空き家の積  
極的把握を要望した。  
速やかにウイルス対  
策と予算執行準備にあ  
たられることを望み、  
令和2年度一般会計予  
算、3特別会計予算は  
可決に賛成とする。

## 豊島ネット

2020年度一般会  
計及び3特別会計予算  
に賛成。

人権、平和、多様性  
生活者の視点から予算  
の審査を行った。主な  
項目について。デイト  
DV予防教育は区立中  
学校で必ず実施を。D  
V加害者への対応や幅  
広い啓蒙を。区民ひろ  
ばの施設改修工事等は  
地域差が出ないように。  
ハレザ一体施設やイケ  
・サンパーク等公園で  
の再生可能エネルギー  
の積極的な導入を。区  
民センター、芸術文化  
劇場、池袋西口公園野  
外劇場で、区民が公演  
を行う場合は利用料の  
割引きなどインセンテ  
イブを。豊島区教育委  
員会いじめ調査委員  
会の人選では、豊島区子  
どもの権利に関する条  
例への理解や、弁護士  
との連携に留意を。  
コロナ禍によりパラ  
ダイムシフトが起こる  
可能性がある。地域で  
仕事や雇用を作り、地  
域内経済を広げていく  
豊島区独自の「地域経  
済復興政策」が必要。